

第 48 回気候影響・利用研究会

《レジームシフト／気候ジャンプ／数十年スケール変動》

日 時：2008年3月27日（木）12:30～17:30

場 所：気象庁3号庁舎 2F-3023 会議室

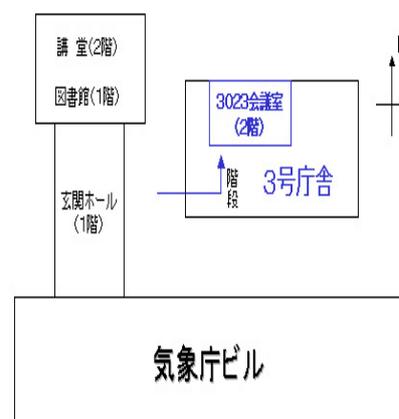
（千代田区大手町 1-3-4）

#正面玄関を入り玄関ロビー対面の通用口から出る

#交通：地下鉄大手町駅または竹橋駅

主 催：気候影響・利用研究会

参加費：本会非会員の参加者については
予稿集代として 500 円程度を徴収予定



プログラム：

12:30-12:55 気候影響・利用研究会総会

---<休憩>---

13:00-13:40 一般講演(発表 15 分・討論 5 分) 座長：未定()

1) 宮崎気候利用研究会（報告者：内嶋善兵衛）

「宮崎の気候資源への温暖化の影響評価」

2) ○内嶋善兵衛(お茶の水女子大学名誉教授)・桜谷哲夫(東京農業大学短期大学部)

・清野豁(生物系特定産業技術研究支援センター)

「日射当たりのパン・湖面蒸発量および森林蒸散量の気温による変化」

13:40-17:00 シンポジウム(発表 20 分・討論 5 分)

《レジームシフト／気候ジャンプ／数十年スケール変動》

13:40-13:45 趣旨説明：加藤央之(電中研：本会会長)

13:45-15:00 座長：未定()

1) 川崎健(東北大学名誉教授・本会名誉会員)

「レジーム・シフト概念の成立過程」

2) 遠藤伸彦(海洋研究開発機構)

「世界における降水量と降水特性の長期変化」

3) 河合隆繁(日本大学文理学部)：

「積雪面積の経年変動からみたレジームシフト」

15:00-15:15(休憩)

15:15-16:30 座長：未定()

4) 菅野洋光(東北農業研究センター)

「北日本における夏季天候の周期性とそれに関連した気候環境変動について」

5) 山川修治・榎本きよ子・小林知佳(日本大学文理学部・地球システム科学科)：

「冬の東アジア気圧配置型・降水型の出現頻度推移と各気候指数との関係」

6) 小森次郎(日本大学ほか・非常勤講師)

「降雪期の富士山麓における気象災害とその予測」

16:30-17:00 総合討論 (座長：未定)

連絡先：農業環境技術研究所大気環境研究領域 西森基貴

(Tel:029-838-8236, Fax:029-838-8199) (E-Mail: mnishi@niaes.affrc.go.jp)